

世界史研究推進委員会

共同研究「高大連携」および「世界史への興味・関心を育む教材・指導法の研究」経過報告

神奈川工業高等学校 中山 拓憲

2014年度も世界史推進委員会は、おおむね2ヵ月に1回のペースで、神奈川工業高校を主な会場に委員会を開催しました。関係各位の皆さまには、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。2014年度の活動を報告させていただきます。

委員会 2014年度の委員会の概要は以下の通りです。(会場は4月鎌倉学園、他は県神奈川工業。)

4月 『世界経済の歴史—グローバル経済史入門』(名古屋大学出版会) 講読会

6月 『歴史家の窓辺』(上智大学出版)の紹介(澤野理・県大師)

10月 秋季大会の準備報告(大久保敏朗・県城郷)

12月 『中国化する日本』与那覇潤(文藝春秋社)の紹介(中山拓憲・県神奈川工業)

2月 春季研究大会の準備報告(福本淳・栄光学園)

「学習指導実践研究協力校」事業報告(越藤邦夫・県藤沢総合)

他にも、授業の導入で使用するスライド教材、夏季休業中のレポート課題等、授業実践に役立つことのできる教材を多く持ち寄り交換いたしました。

研究発表

秋季研究大会 2014年10月22日(金) (地球市民かながわプラザ)

「シャリヴァリを題材に教える世界史授業のさまざまな視点～バイエルンの事例を中心に～」

県立城郷高等学校 大久保敏朗

春季研究大会 2015年3月6日(金) (地球市民かながわプラザ)

「世界史の中の横浜中華街」栄光学園高等学校 福本 淳

第7回「高大連携の試み」 建長寺應供堂および得月楼 (8月11日～13日)

テーマ「現代のアジアをどう教えるか」

午前中は、県内の県立・市立の生徒諸君を相手に、高校教員(柴、神田、中山)による授業と、大学教員(秋田茂、杉山清彦、桃木至朗)の各先生方による講義が行われました。また午後の研究討議では、県内外の多くの公立・私立高校、大学関係の先生のご参加を頂き、活発な研究討議が行われ、とても有意義な研修を行うことができました。

今年度も日常の授業実践の発展のために、定例の委員会、研究発表、「高大連携の試み」ともに、より内容を充実させていく所存です。さらには5月29日～31日にわたり3日間でシンガポールにて開催されるAAWH(アジア世界史学会)に参加し、移民をテーマとする研究発表を行う予定です。

諸先生方におかれましては、校務ご多忙の折とは拝察いたしますが、今後とも研究大会並びに社会科部会各委員会への参加をよろしくお願いいたします。一人でも多くの若手の先生方のご参加をお待ちしております。お気軽にご参加ください。